令和２年度 第１回　〇〇・△△・□□地区地域ケア個別会議 検討事項一覧（事例１）

初回事例提供

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日時 | 令和２年５月１４日（木）午後１時～ | 会場 | 富岡まちづくりセンター研修室 |
| 出席者 | 〇〇医師（△△クリニック）、〇〇歯科医師（△△歯科医院）、〇〇薬剤師（△△薬局）、〇〇ＰＴ（△△病院）、〇〇ＯＴ（△△病院）、〇〇ＳＴ（△△病院）、〇〇管理栄養士（老人保健施設△△）、〇〇主任ケアマネ（特別養護老人ホーム△△）、〇〇・〇〇・〇〇第２層ＳＣ（地域包括支援センター）、介護保険課・〇〇、高齢者支援課・〇〇。 |
| 進行役 | 〇〇主任ケアマネ・〇〇地域包括支援センター | 事例提供者 | 〇〇ケアマネ・△△病院 |  |

モニタリング

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日時 | 令和２年８月２０日（木）午後１時～ | 会場 | 富岡まちづくりセンター研修室 |
| 出席者 | 〇〇医師（△△クリニック）、〇〇歯科医師（△△歯科医院）、〇〇薬剤師（△△薬局）、〇〇ＰＴ（△△病院）、〇〇ＯＴ（△△病院）、〇〇ＳＴ（△△病院）、〇〇管理栄養士（老人保健施設△△）、〇〇主任ケアマネ（特別養護老人ホーム△△）、〇〇・〇〇・〇〇第２層ＳＣ（地域包括支援センター）、介護保険課・〇〇、高齢者支援課・〇〇。 |
| 進行役 | 〇〇主任ケアマネ・〇〇地域包括支援センター | 事例提供者 | 〇〇ケアマネ・△△病院 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 事例の課題 | 集会所で地域の交流会が月１回程度あり、みんなと歩いて参加したい（1.4キロ）。※脊柱管狭窄症の術後、200ｍしか歩けない。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 専門職等名称 | アドバイス内容 | アドバイスを受けての方針 | 方針の結果 | モニタリング・アドバイス |
| １ | 医師 | ①腰痛などリハビリでの改善は、精神状態が８割占めると言われている。軽度うつがあると難しいのではないか。②本当に自分にあった筋トレを専門家から指導してもらう必要がある。 | ①軽度うつはすぐに治るものではないので、モチベーションを保つことが重要と理解した。通所リハのリハ職からテレビを見ながらできる簡単なストレッチを教えてもらい、続けてもらう。②通所リハのリハ職と再度リハビリ内容を確認する。 |  |  |
|  |
| No. | 専門職等名称 | アドバイス内容 | アドバイスを受けての方針 | 方針の結果 | モニタリング・アドバイス |
| ２ | 歯科医師 | 筋トレは、精神的なものが大きいので、その頑張れる目標はないか。 | 現在、連続して２００ｍしか歩けないが、３ヶ月後の目標を４００ｍ先のお店とした。 |  |  |
| ３ | 薬剤師 | 状態を確認しながら、うつ病の薬を減らせていけないか。 | リハビリの意欲が低下しないよう、うつ病の状態を確認しながら、主治医と相談する。 |  |  |
| ４ | 管理栄養士 | リハビリのあとに、筋肉のもとになるタンパク質を上手に摂る必要がある。 | リハビリのあとに、タンパク質を多く含む牛乳、チーズ、納豆、豆腐などを摂るように伝える。 |  |  |
| ５ | 理学療法士 | 歩いての交流会の参加が大事なのか、交流会のみの参加が大事なのか、フォーカスするところで、対応が変わってくる。 | 交流会の参加が大事であるため、参加時には、家族に送迎してもらうか、タクシー利用を提案する。 |  |  |
| ６ | 作業療法士 | 痛みの評価が大事である。６ヶ月後の目標の「１.４キロを歩行することは、脊柱管狭窄症では長いので、途中に立ち寄れるポイントはないか。または近くに別の通いの場はないか。 | ・主治医や通所のリハ職に痛みの評価を定期的にしてもらう。・集会所の途中に立ち寄れるポイントや近くに別の通いの場がないか確認する。 |  |  |